

保護者・生徒用

# 愛ことば

～安倉中愛 友よ～

宝塚市立安倉中学校  
校長だより  
2025(令和7)年  
1月7日(火)  
第23号

明けましておめでとうございます。

## 第2回安倉中愛句大会(全校の部) 結果発表その1

～始業式で伝えたかったこと～

あまなっとう

「三月の甘納豆のうふふふふ」「たんぼぼのぼぼのあたりが火事ですよ」などの俳句で有名な坪内稔典先生を安倉中にお招きしての「第1回安倉中愛句大会(3年の部)」を昨年2学期に開催いたしました。これをきっかけに安倉中全体でもねんてん先生の、ことばを紡ぎながらことばで遊ぶ感覚を広げていき、ことばを大切に、ひとを大切に、安倉中学校の皆が居心地のいい学校にしていければと考えています。

そして、今回開催したのが2学期の終業式で開催させてもらった5分間で一斉に俳句(愛句)を作った「第2回安倉中愛句大会(全校の部)」でした。

ねんてん先生のおっしゃる「俳句は、自由に勝手に読んで楽しむ。」という感覚を更に大切にするために、安倉中学校では、俳句(HAIKU)をもっと親しみやすく型にはまらずに自由に作っていくために「H」を取って「AIKU」とし、これまで皆で大切にしてきた「安倉中愛」と合体させた「安倉中愛句」として自由な感覚のことば紡ぎでのことば遊びをしていくこととします。

今回、5分間で1句作るというミッションインポシブルでしたので、なかなかことば遊びを楽しむとまではいかなかったかもしれませんが、それぞれが自分の個性を大切にした力作が多かったです。皆さんの底知れぬ力を感じています。

今回、全校の皆さんに作ってもらった句をこの冬休み中に見させてもらい、私の勝手な感覚で「安倉中愛句賞」を決定しました。

また先日の「第1回安倉中愛句大会(3年の部)」において、ねんてん先生同様大変お世話になった元安倉中学校長の西澤健司先生にも国語科の専門的な視点からも選んでいただいています。

今回の『愛ことば』では、それぞれの俳句(愛句)を味わいながら紹介させていただきます。

《今回のお題》

◎1・2年生「手袋・セーター・マフラー」

(第1回大会でねんてん先生から3年生に出していただいたお題です。)

◎3年生「冬休み」

# 1年生の部

## 最優秀愛句賞（1年生の部）

### どこ行った不仲の2人手袋さん

たった5分の制限時間の中でのお題の手袋。ペアで仲良しのはずの手袋が実は不仲な2人であると連想した発想力には脱帽です。いつもバラバラで不仲の2人の間で困っている持ち主に同情します。2人の仲直り、頑張ってください。

## 優秀愛句賞（1年生の部）

### セーターでちくちくちくちく静電気

セーターで連想できる静電気。静電気の句はいくつかありましたが、この句が一番静電気の性質を表現しているようでした。「ちくちくちくちく」というオノマトペだけでまとめるリズム感もよく、気持ちがちくちくして気になる句です。

### 二人でさマフラー半分恋してる

「二人でさ」の感じが同じ思いをもう一人と共有している感じがあっていいですね。マフラーを二人で使う姿から半分ずつ恋しているみたいで何か淡くてはかない感じがするのも恋に恋する？中学生ならではの句になりました。

### 帰り道マフラーこぼれる白い息

少し寒い帰り道でマフラーを顔まで巻いた間から白い息がこぼれる。早くあったかい家に帰ろうと早足になる絵がそのまま浮かんできます。たった17音（18音）ですが「おかえり」って迎ええられる絵まで浮ぶ素敵な句です。

### 風寒く透明手袋息あたる

「透明手袋」に魅かれました。読み手が自由にその句を味わえるところが俳句の良さとねんてん先生もおっしゃってました。手袋をしていない手に、はぁーと息を吹きかける一瞬を切り取ったのでしょうか。「透明」がやっぱり面白い！

### 手袋もさむいさむいとかわいそう

これまでは、手袋って人を温めてくれて当たり前と思っていたけれど、この句ではその手袋を「かわいそう」と思いやる気持ちに頭をガツンと叩かれた感じがしました。きっと作者は帰宅後、この手袋を両手で温めてあげたのでは？

## 今回投句してくれたみんなの句（1年生の部）

冬休み寒い時期には手袋だ  
手袋が手が温かく最高だ  
冬の夜風がビュービュー風の声  
校内で手袋マフラーつけんでな  
行方不明親にあずけたお年玉  
白い息首に巻きつくマフラーさん  
冬休み手袋大事温かい

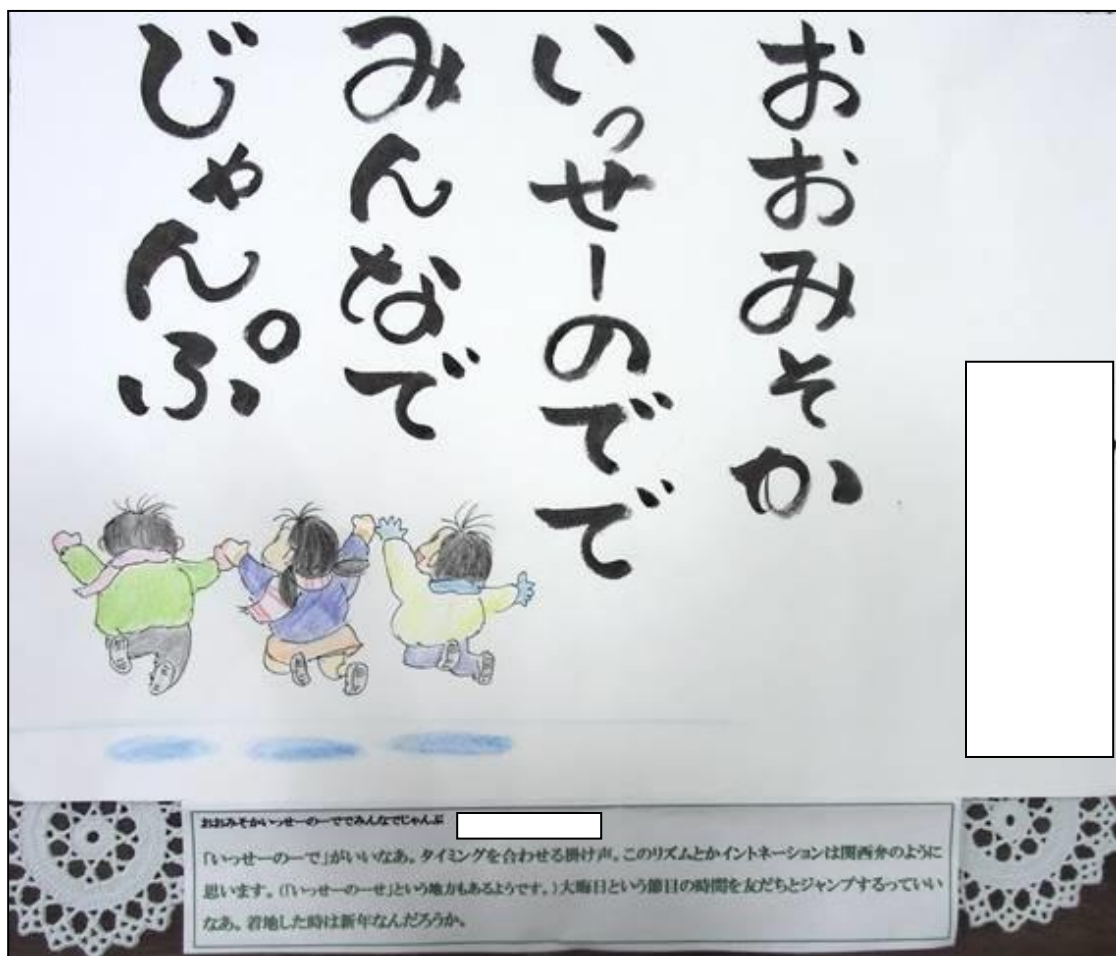
とりにくいブレザーにつくマフラーの毛  
くりすますさむいよるにマフラー着る  
マフラーに雪がつもってまっしろに  
マフラーは巻いたら心もあたたかい  
マフラーはくびにつけるとあったかい  
風ふけば感じるちからほうおうカ  
マフラーで温まりながら年明けだ

てぶくろをかいたいけれどもうないよ  
冬休みさむいからこたつであつたまる  
冬休みマフラーつけてもてまくり  
今日も首を暖めるよマフラーが  
マフラーはくびがほかほかあたたかい  
冬になり友達になったマフラーと  
登校時手ぶくろつけてもかじかむ指先  
手ぶくろの片手無くして怒られる  
おおみそかいっせーのーでみんなでじゃんぷ  
クリスマスマフラーつけてあたたかい  
マフラーはあたたかくてさいこうだ  
あつたかく心も同じあつたかく  
セーターの静電気とお雑煮  
寒い日はセーター着こむほぼカイロ  
手袋に両手を入れて星を見る  
マフラーが私の首をほかほかと  
手袋の落とし物冬を感じる  
首もとにひらひらおどる赤マフラー  
クリスマスサンタさん来るかな？楽しみだ  
冬が来たマフラー無いと生きてけない  
手袋ね今年もつけて寒い冬  
マフラーをまいてくれてありがとう  
マフラーを首にまいてあたたかい  
寒い日々体あたたまる防寒具  
手袋つけてしまえば寒くない  
セーターにティッシュ入れたまま洗濯しママ悩ませる洗濯機ばくはつ！！  
かんそうなめればいけるぺろぺろぺろ  
冬休みこたつに入りなでる猫  
冬の夜マフラーぬくぬくあたたかい  
冬の時期セーターマフラー何着よう  
クリスマスマフラーつけてはつもうで  
冬の朝ぬくい衣を着け外へ  
手袋は温くなる心もね  
マフラーをまいてくれてありがとう  
手袋はいつもつけてるあたたかい  
冬の星マフラーゆらぐひえた風

あたたかい手袋つけるさむい冬  
てぶくろは手から心をあたためる  
首寒いマフラーつけるとしあわせだ  
ポッカポカ外でつければあたたかい  
暑くなり手袋とったらカイロでた  
セーターを机の上にのーせーたー  
冬休み短い時間宿題も思ったよりも大変だ  
マフラーでたのしいあそびましょうやりましょう  
マフラーでほかほかな冬雪あそび  
冬寒い手袋で手守り大喜び  
冬休みマフラーつけてはつもうで  
寒いとき手袋つけてあつたまる  
クリスマスプレゼントは手袋うれしいな  
マフラーはやさしくあたたかいともだちだ  
冬になりマフラーがないとのりきれない  
クリスマスみんなであたたかいねマフラーで  
白セーターふわふわなのに静電気  
冬の手はてぶくろあつてもつめたすぎ  
防寒具学校内では外しましょう  
さむいからほくほくじゃがいもたべようよ  
冬休みこたつから出ない一日中  
てぶくろ一回つけるとはずさない  
友達と手袋わけっこほかほか  
冬の空雪がふりつつああ冬か  
手ぶくろを忘れてしまい手が動かん  
マフラーをまいてくれるお友達  
手袋  
冬休みマフラーまいてぬくぬくだ  
てぶくろをつけて行ったらいっこない  
冬のよるこたつの上でねるみかん  
冬休み手袋つけてあたたかい  
マフラーを巻いてくれてありがとう  
冬休み最高の毎日にしちゃおう  
おこられた教室内で手袋が  
さむいとき手袋だけでポッカポカ  
寒い時手袋つけて過ごします。

寒すぎるそんな日にはマフラーだ  
 クリスマスマフラーあんでプレゼント  
 手ぶくろかたっぽう無くし寒いな  
 さむいよねだから手袋付けるんだ  
 クリスマス手ぶくろつけた人たちいっぱい  
 塾帰りマフラーなくてもたえられるよ  
 風強し今日もこの手をあたたかく  
 てづくりのチクチクするなマフラーが

雪遊び手袋つけたが意味がない  
 手カサカサ手袋すればだいじょうぶだ  
 寒すぎるうらきもう着て完全防寒  
 冬休み二学期おわり三学期  
 寒い日チャリをこぐあー手ぶくろ  
 手袋で手を温めようホカホカして



上の句は、安倉中学校の前の前の前の校長先生である西澤健司先生が選句してくれたものです。講評と共に手書きの句とイラストをつけていただいています。この他、西澤先生が選句していただいたものは、別紙で作成していただいていますので、こちらも皆さんに配布させていただきます。